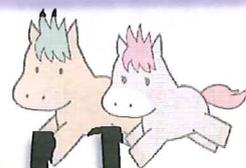


2013. 年末号



広報～風・菜・樹



ふなき便り

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業グループ

2013年行く年来る年 ～利用者忘年会～

早いもので2013年も師走を迎えました。

へび年の本年を締めくくるべく、ハイツふなき・ヴィラふなき合同忘年会を埴生にある「帆万里」にて開催しました。

皆さんお互いに1年の労をねぎらい、お刺身や茶碗蒸しといった食事を楽しみ、カラオケを熱唱されました。

また、1年の締めくくりを占うくじを企画しました。多くの利用者さんが様々な景品を手に入れ、大盛り上がりとなりました。



会場へ到着しました。
下駄箱には多くの靴
があります。

座敷に座り、これから忘年会の
開催です。



食事を楽しんでいます。
美味しい食事にはしも進みます。



カラオケの様子です。
拍手喝采の中、熱唱中
です。



くじを行ない、当選者の方か
ら今年の感想を伺いました。



最後は所長の掛け声と共に締めくくり
ました。

2013年 各事業所の振り返り

【ハイツふなき】

2013年もあっという間の1年でした。振り返ってみると、今年は色々な所に行ったなあと思います。5月にバス旅行で萩に行き、今年力を入れている外出支援では、海響館やこもればの郷、ポーリングに回転寿司、秋には徳佐のリンゴ狩りにも行きました。それぞれの場所で楽しい時間を満喫し、たくさんの笑顔が見られました。

また、今年も多くの方がハイツを卒業されました。ハイツで目標をもって生活を送り、様々な困難を自分で解決し、卒業された方の笑顔を見て私達も笑顔になりました。

来年もたくさんの笑顔に出会えるよい一年でありますように…。

主任 石川 幸一



【ヴィラふなき】

時の経つのも早いもので、あっという間に今年が終わろうとしています。皆さんはどんな一年でしたか。

「ヴィラふなき」の一年を振り返ってみると、利用者さん、スタッフ共々体の成長が目立ちました…。ダイエットを試みたスタッフもおりましたが、見事撃沈でした。年末年始にかけて、美味しい物を食べる機会が多く、益々成長しそうです。成人病予防のためにも「来年こそはダイエットを」との合言葉を励みに、施設全体でダイエットに励みたいと思っています。身も心も軽くなったヴィラを来年こそはお見せ出来ればと願いつつ、今年を締めさせていただきます。

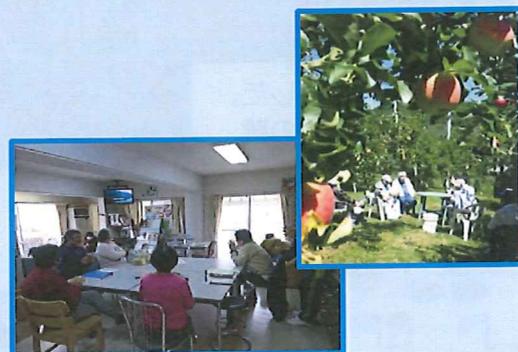
それではみな様、楽しい年末年始をお過ごしください。来年も良い一年になりますように……！

主任 土田 美由紀

【生活支援センターふなき】

今年も多くの関係者や利用者の皆様のご協力を頂きまして無事に年末を迎えることができました。福祉サービスを利用されている利用者の方に限らず新年もスタッフ一同気持ち新たに各種相談支援事業に対応していこうと考えております。平成26年度末までは緩やかに計画相談の対応を行ないながら地域移行・地域定着にも積極的に取り組んでいく予定です。本年も大変お世話になりました。新年も変わらずいろいろなお気づきを気軽にお聞かせ頂ければと思います。

次長 牧 憲一郎



【サムラ】

今年も充実した一年でした。大きく3つあるのですが、何よりもまず、利用者さんを非常勤として採用したこと。一緒に働く仲間として受け入れ、今後も引き続き本人の能力を最大限まで引き伸ばしていきたいと思っています。次に、店として年度初めに掲げた「純利益の向上」の達成のために広告を掲載し、予想以上のお客様の増加があったこと。目標数値の3倍程度の利益増を現時点で見越しています。利用者さんの工賃向上のためとはいえ、過酷なスケジュールをこなしてくれたサムラの全職員に、ただただ感謝です。3つめは、就職率の目標達成。これまた年度初めの目標を超えた就職率（12月時点での見込み67%）となりそうです。文章で書いてしまうとこれだけですが、実践するには相当な根性と体力を要します。今年本当にサムラスタッフの実力を発揮できた一年だったと思っています。来年すべきことは既に決定済み。来年もよろしくをお願いしますね。

施設長 榎谷 紀幸



利用者さんに一年を振り返って頂きました。

《ハイツふなき》

【宿泊型生活訓練】

ハイツでの生活を振り返ってみると最初はあまり楽しくなかったけど、皆さんと仲良くなり、だんだん楽しくなりました。そのおかげで今では地活も頑張っています。ハイツの行事では徳佐のリンゴ狩りとスポーツレクで卓球をしたことが思い出です。今後は、新しい場所で生活するためにハイツで一生懸命頑張っていきたいと思っています。(Mさん)

【就労継続B型】

一年を振り返って、私は過去に外勤に出た事もありますが、今は作業棟で作業を行っており、ある程度の作業はこなせると思います。ここでは的確な判断や、正確さが要求されますが、今では大きなミスもなく、自信をもって作業をしています。これからも健康で体力が続く限り作業を行っていききたいです。(Tさん)

《ヴィラふなき》

今年の6月1日からヴィラに入って生活をして朝7時からラジオ体操に参加しています。盛り付けの当番も一生懸命頑張っています。ブロックの人たちと仲良くしています。はじめは年配人たちがばかりなのでここで生活がやっつけていけるか不安でした。日中活動でいろんな事をしたりショッピングツアーで買い物したりとっても楽しいです。ヴィラの生活が楽しく、仕事も頑張っています。(Mさん)

散歩をしたり、ジュースを買ってベンチ外を見ながら飲むのが好きです。暖かくなったらまた散歩に行きたいです。これからもヴィラで元気に過ごしたいです。(Nさん)

《センター》

【計画相談】

福祉サービスを利用するのが初めてだったので、計画相談を利用してサービスや制度のことをいろいろと教えてもらったりして助かりました。(Tさん)

【日中一時支援】

病院のデイケアから来て、仲の良かった友達がいたからびっくりしました。(Mさん)

意外と利用されている人が元気でした。(Fさん)

《サムラ》

【就労移行】

私は今年サムラより無事就職することが出来ました。サムラを利用する前から、一般企業への就職を胸に抱いていたこともあり、知人の紹介でサムラの利用を開始しました。実際にハローワークや障害者就業・生活支援センターなどを通して、就職活動をしていく中で自分が就職してみたい職種・自分が長く続けられそうな職種など含めて考えることも多かったのですが、職場実習を経て無事就職が出来てよかったです。これからも一生懸命頑張りたいと思います。(Oさん)

【就労継続支援B型】

私はサムラの利用を初めて、4年経過しました。今では外販やホールの接客、また慣れたところからレジを経験するなど、入ったころに比べて出来ることがたくさん増えたと思います。今年は新しい人や実習生さんなど新しい人が多く、大変な一年でしたが、これからも一生懸命お仕事をしたいと思っています。(Nさん)

スタッフちゃんねる

ヴィラふなきで世話人をしております田崎です。早いもので、入社してから4年目となりました。前回の記事でも紹介しましたが、私の趣味はバイクです。今では愛車も変わり、オフロードバイクに乗っています。

山口県には美しい自然が多くあり、休日は山道を走っていることがほとんどです。道に迷うことも多いですが、自分だけのお気に入りの場所を見つけることも出来るので、楽しみとなっています。そうやって見つけた場所や道を、行事等で生かしていきたいと思います。



シリーズ ～職員勉強会～



11月29日の職員勉強会では、以前広報紙紙面にてご紹介した所内委員会の1つ、安全衛生委員会が講師を担当し、「感染症対策及び配薬について」学びました。

「感染症対策」では、この時期に流行傾向にあるノロウイルスやインフルエンザに関する知識をQ&A方式で確認し、改めて理解を深めました。

また「配薬について」では、実際に正しいロールプレイングと間違っただけのロールプレイングを行うことで配薬と薬の管理の様子を客観的に見つめ直し、また利用者役の職員が「実際には口に含んだだけで、服薬していない等」の細かい演技を行ない、より見逃しがちな部分が見えてきました。

これからも様々な方法でサービスの安全性やリスク管理に関する知識を深めていきたいと思っております。



佐伯所長の

今月のエッセイ

今年最後の執筆です。今年も「マネジメントとは何ぞや？」を考え続けてきましたが、結局答えは出ず。まあ、それが当たり前で、この終わりのない追求があるからこそ、仕事を続けることが出来ていると思います。

立場上、私にとっての「マネジメント」とは、「組織のマネジメント」と「事業のマネジメント」の二つです。この二つのマネジメントを行うためには、常に「人、モノ、金、情報」について考えなければいけません。人＝スタッフ、モノ＝設備やサービス、金＝資金や収支、情報＝制度や施策、といったところでしょうか。ここに、組織の方向性を示す「ビジョン」と、組織としてのチームプレーを可能にする「コミュニケーション」が加わるのが非常に大切と考えています。「ビジョン」、「マネジメント」、「コミュニケーション」が組織・事業運営における「三種の神器」と私は勝手に捉えています。

この理屈は、経営管理のみならず、現場におけるサービス管理にも充分あてはまると思っています。利用者さんと支援の方向性や計画を共有し（ビジョン）、利用者さんのニーズをサービスや社会資源につなぎ支援すること（マネジメント）、そして円滑な支援を提供する上で不可欠な信頼関係の構築（コミュニケーション）。

さて、この様に大きく捉えると経営や経済の原理原則が福祉の考え方にあてはまることが実は多くあります。福祉従事者が専門的知識や技術を極めることは当然必要なことです。しかし、「福祉の常識は、社会の非常識」なんて昔から揶揄されている様に、福祉従事者が自施設・福祉業界＝「ミクロ」の環境・常識しか知ろうとせず、社会全体＝「マクロ」の環境・常識が見えていないということが未だ多くあります。いわゆる「井の中の蛙、大海を知らず」です。近年、ミクロ・マクロのループが出来ているか否かで、組織として、専門職としての勝ち組と負け組が分かれてきているのが良く分かります。即ち、ミクロ（福祉）の環境・常識をマクロ（社会）の環境・常識につないで、有効的にミクロ環境にフィードバック出来るかどうかです。

今の時代、福祉施設も市場原理に基づいた経営をしなければなりませんし、我々が提供する福祉サービスや就労支援事業で生産する商品の質も、一般消費者としての目線で捉えた場合どうか、ということを考える必要があります。私たちの法人も未だ「眠れる獅子」だと思っています。来るべき平成26年が獅子覚醒の年になるよう、新年に思いを馳せたいと思っております。

(佐伯)

CHECK!



- ・ハイツふなき
- ・ヴィラふなき
- ・生活支援センターふなき
- ・サムラ

〒757-0216 山口県宇部市大字船木833
社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業グループ

- (0836)67-0188 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型
- (0836)67-1883 グループホーム・ケアホーム
- (0836)67-2464 相談支援事業・日中一時支援
- (0836)67-0171 就労移行支援事業・就労継続支援B型

ホームページ

<http://www.furoukai.jp/>

ブログ

<http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>